

吉村 幸代

活動レポート

No. 22

市議選2023
特集号



吉村幸代事務所

〒399-0025 長野県松本市寿台2丁目6-11

Tel&Fax.0263(58)0201

E-mail.sachiyo941@gmail.com



ホームページ



facebook

強く優しい市議として 皆様方の「あたり前の日常」を守ります。

議員3期目スタート!

手応えを感じてはいました。「これだけやって駄目ならば、諦めがつくというものだ。前回とは違つ、あんなに歩いたじゃないか。」
自分に言い聞かせながら、でも開票の時を目前に緊張感が高まる一方。「回数を重ねるほど嫌なものだよ、選挙は」と先輩議員が話していたのを思い出します。

我が人生3度目の選挙。21時に始まった開票作業は、22時から20分おきに速報値が発表されて、少しずつ差が開き始めていました。23時に188票に達した私に当選は見えていましたが、そこで速報が止まり、最終票数確定までの1時間は拳を握り締めて待ちました。携帯画面を見ていた誰かが叫びました。「200票を超えた!」
得票数208、前回より350票増、初戦をしつぽ票を得て当選です。

万感胸にこみ上げ、御礼を述べるのが精一杯。後援会役員を買って出してくれた恩人、雪の舞つ厳寒期から一緒に挨拶回りを重ねてくれた人、事務作業に励んでくれた方々、支えてくれた家族……皆でダルマに目を入れました。



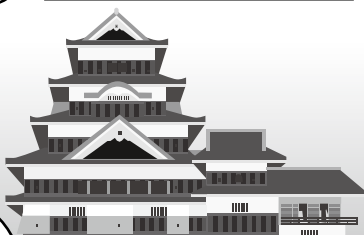
Photo by Chihiro Matsumoto

9年前、松本市寿台公民館長の任期が満了し、地域の方々から請われて市議選に初出馬しました。
2期8年の歳月は、私の周囲から大切な人たちを次々と奪っていきました。後援会の幹部が相次いで他界し、空席だらけの組織図。前回の選挙ポスターを貼ってくれた元気な人が、今はいない。
まるで「弔い合戦」のような3選目を、皆様方のお力添えで勝利して、議会人として私はさらなる歩みを進めてまいります。
皆様方の「あたり前の日常」を守る、強く優しい市議として。

市役所新庁舎の建設

分散化は有益？
松本駅前にも分庁舎！
ICT化と分庁、矛盾では？

市政全体の 大きな問題



中心市街地の活性化

松本 PARCO 撤退後は？
城下町はマンション街に！
脱マイカーと駐車場不足のはざまで…

基幹博物館の土地

令和5年10月開館！
土地の契約は？
更地か、高額賃借か？

市立病院の移転建設

産科の継続が決定！
コロナ補助金なき後の経営は？
病院再編・淘汰時代の到来

コロナ禍ダメージからの回復

失ったもの・分断されたものの再生を！
追い打ちをかける物価高
苦しくなる一方の市民生活

松本市政、どうなっているの!?

特集「臥雲市長の任期残りわずか。今、松本市が抱える問題点」

入学・卒業式の来賓カット

「コミュニティスクール、部活動の地域移行」と言いながら、
市立学校はどこへ向かう？

寿団地の再生

再整備計画はどうなっているの？
このままでは、寿台は弱体化の一途

守れ！中山間地・中山地区

なかなか進まない地区計画
農業と地域存続の一手が必要！

吉村幸代に、お寄せ いただいていること

なくなる老人サービス

紙の広報がなくなると困る！
福祉入浴券もなくなるの？

金食い虫のまつもと市民芸術館

誰のための芸術館？
芸術監督制度は何をもたらした？
松本市は、本当に演劇の街!?

消える健康施策

市熟年体育大学の終了は残念！
健康づくり推進員がいなくなって大丈夫？

学都にふさわしい取り組みを

教育文化センターの科学館構想はどこへ？
社会教育が疎かにされていないか!?

水を取り巻く諸問題

伊勢町の水路「せせらぎ」の管理
農水路への生活排水流出

松本山雅FCのある街として

かりがねサッカー場の人口芝が痛んできた

税金の無駄遣いチェック

費用対効果を検証して無駄を減らし、
子育て費用に回して！

アプリ「信州防災」

指定避難所・寿台体育館に「地震の際は✕」と表示あり
→長野県危機管理部に連絡した結果、修正されました。

身近なバス交通、もっと便利に

北市内線「松本駅～県の森～元町」の本数が少ない
松原線、松原地区内を一周して！
地域バス中山線の買物・通院便が少ない



「市長の応援を受けて出馬した候補者って、当選した曉にチェック機能が果せるものかしら？」

選挙前のある日のこと、尋ねられて戸惑った。質問者が現市長の応援団、お膝元町会の人だったからだ。本音を語ったら、該当の新人候補者に対して厳しい答えになる。市長に対しても冷ややかな批判になる。

やがて迎えた告示日。松本駅前を通りがかると、赤いジャンパー姿の市長が新人候補者を従えて、応援演説の真っ最中。「オリンピックに出た候補者は、他にいません。比類なき人物！こういう人を市議会へ」と張り上げた声が、私の選挙力の中へ流れ込んできた。

年末から歩き続けること5ヶ月余。厳寒期には名刺を繰る指先がかじかんだ。雪混じりの寒風にさらされながら、「七十面下げて、私は何をしているのか。こたつで居眠りしていても叱られない年齢なのに」と思ったりもした。だが、何としても議会に戻りたい。

私には何の後盾も応援団体も、所属政党もない。地縁血縁というが、居住地区は極小で、幼馴染や親戚は他市に。他人様を頼りに、自分で1票1票を積み重ねていく他に成す術はなし。結果、私

の戦いは、いわゆる「どぶ板選挙」。2期8年間、松本市全域に散らばる後援会員宅へ活動レポートを届け続けてきた。「切手が貼つてないけど、どうやって配ったの」と聞かれることがある。近隣は私と夫、他は娘夫婦で配達、本業の合間ゆえに2ヶ月超を要す。

名簿の管理も一苦労で、現況を反映して修正に修正を重ねる日々。かの「たまごっち」を育てるがごとくである。ありがたいことに、総数は増え続けている。

吉村コラム

ちやぶ台も勉強机

政治不信



さて、緊迫の開票日。市長の応援を受けた新人候補者3人が、無名状態からの短期決戦にも関わらず大量票を獲得して当選した。市長自らが応援の最前線に立ち、市長の協力要請で後援会の人たちが動き、公選はがきも「臥雲の会」から届くといった手厚い「子育て支援策」が功を奏したのである。松本市議会の党派構成要件は議員3人だから、これでチルドレン会派が誕生するものと誰もが思った。

ところが、松本駅前で市長が応援演説した比類なき人物が、事もあろうに市長に批判的な議員らと新会派結成。残りの姉弟は無所属を余儀なくされて彷徨っている。

「一体、どういうことなの!？」

市長のお膝元町会で再び尋ねられたが、疑問はごもつとも。市長と力を合わせて働いてくれると信じて協力し、投票したのだから。

政治不信とはかくして形成され、有権者の足は投票所から遠のいていく。

編集後記

「吉村さん、地味すぎない？他の人の公約にはロマンがあるよ！吉村さんを応援しているからこそ心配だからね。」告示直前の事務所に電話をいただいた▼改めて他者の訴えに注目してみる。「アルプスの上空にブルーインパルスを飛ばす」なんじゃそりゃ。「パルコ跡地をダンスの聖地に」取り壊しは未定、しかも土地は複数地権者の私有財産。「地産地消・有機野菜・給食費無償化」美味すぎる話は疑って聞こう。「議員の成果報酬制導入。質問回数に応じた議員給与……」こんなこと言って、きつともう普通に給料をもらっている。「子育てとキャリアの両立」当選したらそのまま育休って、給料は我々の税金だから複雑な気持ちだ。▼今回また投票率が下がって40%、候補者が女性・若者・新人・珍人てんこ盛りでも上がらない。▼「どうせまた口だけ。真面目に聞いても虚しいわ!」ある朝、子どもを叱りながらハツとした。果たされない約束が野放しじゃあ、虚しくもなる。言葉は政治家の武器であり生命。候補者の言葉に信頼が持てるようになったその時、投票率は上がるかもしれない。(結城子)



▲ 3/28(火) 久保田副会長と中山地区を回る



▲ 4/15(土) 告示前日の事務所



▲ 4/16(日) 告示日



▲ 4/19(水) 遊説隊は全員女性 奈川渡ダムにて



▲ 4/19(水) 立会演説会 第三地区公民館にて



▲ 4/20(木) 立会演説会 棚峯公民館にて



▲ 4/22(土) 街なかマイク納め 日の出町・堀齒科医院様前にて



▲ 4/22(土) 青木崇県議が応援に！ タッグを組んで明善学区をさらに良くしていきます。



▲ 吉村の遊説隊は「赤備え」



4/23(日) 祝・当選！ ありがとうございます。

